

平成25年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	障がい者と一緒に里山トレッキング
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人 Mt.on trail club (担当者携帯電話 080-3243-5147)
事業区分	(6)ア 特色ある観光地づくり (2) 保険、医療、福祉の充実に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	748,150円 (うち支援金: 496,000円)

事業内容

日本での障がい者登山では2輪もしくは4輪の車いすを4, 5人で引いている。しかし、「トレイルライダー」は1輪車であり、前後2名で扱うことができるとともに路面が悪いところでも平衡を保つことができる。これは全国的にも前例がほとんどなく、先進的事例になりうる。今回購入したことで「トレイルライダー」の使用はアジア初のこととなった。



【トレイルライダー乗車風景】

運用は、基本的に白馬五竜高山植物園を利用させてもらい、7月中旬から10月中旬のクローズまでの期間でエスカルプラザ2階に設置した。

障がいを持っている方もトレッキングを通して当たり前に自然を楽しめる環境を作る第一歩となる事業となった。

※1 自己評価 (事業実施率) 【 A 】

事業効果

乗車数は少ないが白馬村では難しかった歩行困難者が自然と身近に触れ合うことのできる受入体制ができた。乗車した方の満足度はとても高かった。また、バリアフリー対応宿泊施設や白馬村社会福祉協議会との人的ネットワークが構築された。

【目標・ねらい】

- 歩行が困難な方への自然志向の享受支援
- グリーン期における歩行が困難な方のアクティビティ増加
- 乗車数 20名
- 体験者数 10名
- 新規ボランティアスタッフ 10名

乗車数 2名

各種イベントにおいてトレイルライダーの紹介と体験してもらうことで安全性や機能性などを宣伝できた。

体験者数 80名

本事業や試乗体験においてトレイルライダーを引くボランティアスタッフが集まった。

新規ボランティアスタッフ 4名追加

※2 自己評価 (事業効果) 【 B 】

今後の取り組み

まだまだ白馬村内や近隣市町村、自然との触れ合いを求めている歩行困難者への周知が足りないと思われるため、周知活動が最重要である。また、天気や季節に合ったコースを利用者に提供するためにトレイルライダーを使えるエリアの開拓や、ボランティアスタッフの新規登録や技術向上、周知のための試乗体験会の実施も今年以上に実施していく。

※1 自己評価 (事業実施率) 欄は、「A」90%以上、「B」70~89%、「C」50~69%、「D」49%以下で示すこと。

※2 自己評価 (事業効果) 欄は、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



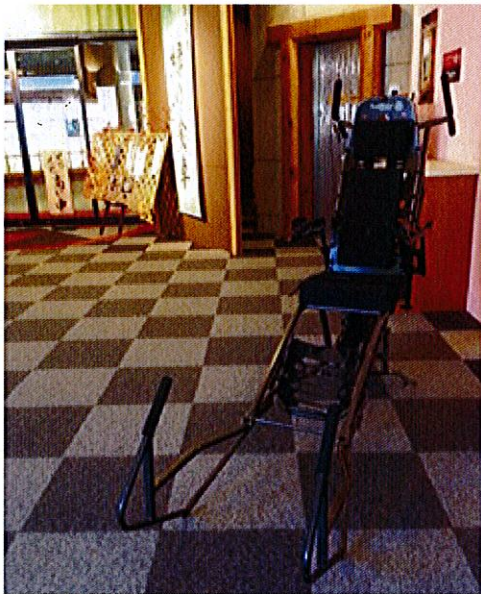
## 報告写真① (トレイルライダー)



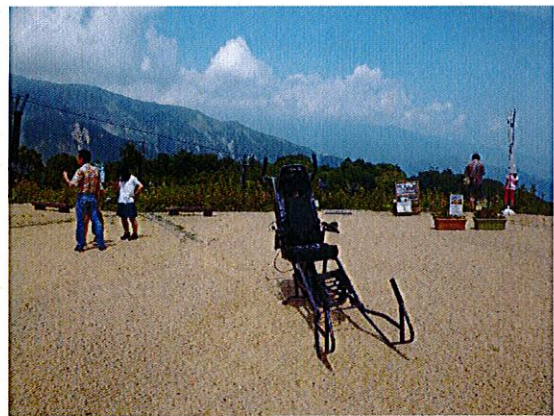
参加者乗車風景①



参加者乗車風景②



エスカルプラザ2F 展示



五竜高山植物園 展示



イベントでの試乗体験会・展示①



イベントでの試乗体験会・展示②



## 報告写真② (トレイルライダー)



試乗体験 (安曇養護学校)



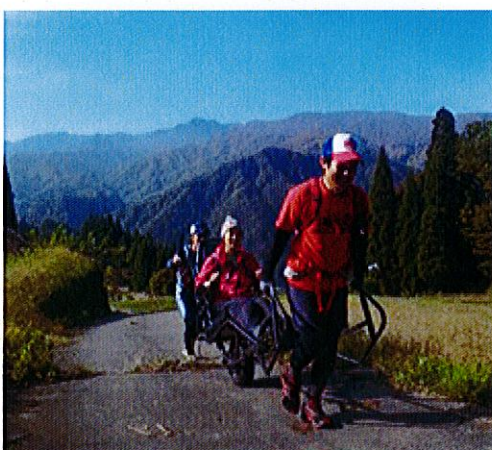
ボランティアスタッフ・(株)五竜スタッフ練習



ボランティアスタッフ練習



新規実施可能エリア開拓 (きこり道)



新規実施可能エリア開拓 (塩の道)



新規実施可能エリア開拓 (塩の道)